PART2 国家体制・植民地支配の影響

Chapter1　ロシア：国家体制の転換と人々の生活

目標
社会主義政策の下で，人々はどのような暮らしをしていただろう。
ソ連の解体後に生じた，社会混乱の背景と国民への影響を考えよう。

1　多民族国家ロシア

・**ロシア**は人口約１億４千万人の大国であり，人口の８割は〔　　　　　　　〕系の人々から構成される。
・歴史上，さまざまな民族を取り込みながら拡大・発展したため，国内に**少数民族**も多い。
・中央アジアに接した地域には**トルコ系**の**タタール人**。〔　　　　　　　　　　　〕を信仰する。
・そのほか，ウクライナ人，バシキール人などが，人口に対し１～２%程度ずつ生活している。
・ソ連時代より**同化政策**が行われていたため，**ロシア語**や〔　　　　　　　〕文字が広く浸透している。
・宗教は〔　　　　　　　　　〕系の**ロシア正教**が広く信仰されている。
・ロシアの周辺諸国では，**資源**の権益などを背景とした**民族紛争**がしばしば起こり，政治的に不安な状況も見られる。

キリル文字

東方正教の教会

2 ソ連の成立と国家体制

・1917年のロシア革命により，〔　　　　　　〕を中心とした15の国によって構成される**ソビエト社会主義共和国連邦**が成立した。略称を〔　　　　〕という。

・第二次世界大戦後は，〔　　　　〕主義諸国の盟主として〔　　〕側諸国を率いる存在となり，**資本主義**諸国（西側諸国）の中心的存在であるアメリカ合衆国と各分野で競い合う。

・国民はみな平等という考えの下，**教育**や**医療**は**無料**であり，食料も安価。

・**国家主導**の〔　　　　〕経済によって生産活動が行われ，人々の**給与**も**一定**。

・1970年代には，人々の**勤労意欲**・生産性の低下や，**軍事費**の拡大によって，国の経済は停滞。

・1980年代には**市場経済**を取り入れるも，国民の生活に混乱をきたし，1991年にソ連は解体した。

3 新生ロシアの混乱と経済成長

・**ソ連**が解体すると，バルト3国を除く旧ソ連構成国では，〔　　　〕（独立国家共同体）を結成。経済的・政治的に緩やかな協力体制を開始した。

・ソ連解体後のロシアでは，〔　　　　〕主義による国家運営が始まった。

・〔　　〕営企業の解体により**失業者**が増加。急激な**物価上昇**により人々の生活も困窮。食料の供給も滞り，食料品店には商品を求める人々の長い列ができた。

・一方で，国営企業の**払い下げ**などにより莫大な富を得る人たちも出現。

・次第に，〔　　　　〕や〔　　　　　　　〕など豊富な**エネルギー資源**の産出と輸出で国内経済が立て直され，2000年代以降は急激な**経済成長**を遂げた。

・中国などと並んで〔　　　　　〕の一つに挙げられる。

まとめ
計画的な生産活動，教育や医療の無償化，安価での食料の供給など。
資本主義への転換による社会混乱。貧富の差も拡大。

Chapter2　ロシア：変化する産業

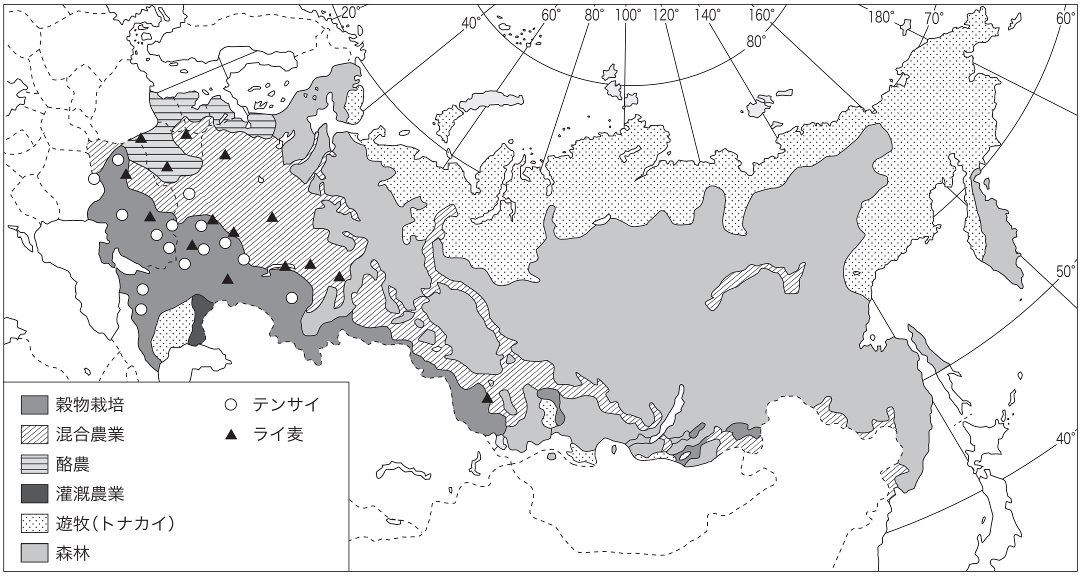
目標
ロシアの小麦栽培地域はどこだろう。
ロシアにはどのようなエネルギー資源があるだろう。

1　ロシアの農業

・**ロシア**では，寒冷な北部では農耕は見られないが，比較的温暖な南部では**穀物栽培**を中心とした大規模農業が見られる。
・**南部**の〔　　　　　　　　〕と呼ばれる草原には肥沃な土壌の黒土・**チェルノーゼム**が広がり，大規模な〔　　　　〕栽培が行われている。ロシアは**小麦**の世界第３位の生産国であり，最大の輸出国（統計年次：2017 年，2018 年）。
・ほかにも〔　　　　　〕や〔　　　　　　　〕など，寒さに強い作物の栽培が行われている。ライ麦は**黒パン**の原料，テンサイは**砂糖**の原料。いずれも家畜の**飼料**にもなる。
・ソ連解体直後には，かつて**国営**だった農場が**民営化**されて混乱も生じたが，次第に安定的な生産・供給が実現された。
・都市の人々の多くは,〔　　　　　　　〕（**郊外**の菜園付きの**別荘**）で週末を過ごす。**ダーチャ**ではたくさんの野菜が収穫され，ロシアの人々の生活を支える。

ロシアの小麦栽培

ダーチャ



ロシアと周辺国の農業地域

2 パイプラインによる原油や天然ガスの輸送

・**ロシア**は世界的な〔　　　　〕と〔　　　　　　　〕の産出国であり，その多くは〔　　　　　　　　　　〕によって輸出されている。

・ソ連時代に，**東ヨーロッパ**地域まで**パイプライン**が敷設され，ウラル地域やシベリアから資源が輸送された。**冷戦**が終わると，それらのパイプラインは延長され，**西ヨーロッパ**にまで達した。

・近年は，**中国**や**韓国**に原油を輸出するためのパイプラインの敷設など，**アジア**方面へも延長が進められている。

天然ガスのパイプライン

まとめ
南部のステップ地帯で，肥沃な土壌を利用した大規模な小麦栽培が行われる。
ロシアは原油や天然ガスの世界的な産出国である。

Chapter3　サハラ以南アフリカ：植民地支配の影響

目標
アフリカから人々が奴隷として連れ出されたことの影響を理解しよう。
アフリカにおける旧宗主国の文化的影響を理解しよう。

1　アフリカの植民地化の歴史

1. 植民地化以前のアフリカ

・**サハラ以南アフリカ**には古代より多くの**王国**や**都市**が栄え，〔　　　　　〕も盛んだった。

・西アフリカ：**ニジェール川**流域に**マリ王国**やソンガイ王国が栄える。主要交易都市は**トンブクトゥ**。北アフリカから〔　　　　　　　　〕商人たちが訪れ，〔　　　　　　　　　〕を伝える。

・東アフリカ：**インド洋**沿岸に港湾都市**モンバサ**が栄える。〔　　　　　〕風を利用して船舶が航行。〔　　　　　　　　〕語と**イスラーム**の規範を基調とする**スワヒリ文化圏**が形成される。

2. 奴隷貿易と植民地化

・15 世紀頃から，ヨーロッパ諸国による**奴隷貿易**が始まる。〔　　　　　　〕湾岸地域から**南北アメリカ**や**カリブ海**諸国へと労働者が〔　　　　〕として送られる。以降 4 世紀にわたり，大量の人口を奪われたアフリカでは，**伝統的**な文化の多くが消失した。

・19 世紀頃より，ヨーロッパ諸国による**植民地化**が進行。境界線の多くは**経度**や**緯度**を用いて〔　　　　〕的に決められた。**プランテーション**や**鉱山**の開発。

3.「アフリカの年」から現在

・第二次世界大戦後に多くの国が独立。17 か国が独立した 1960 年は**「アフリカの年」**といわれる。

・しかし，現在においても低い経済成長率や**貧困**，**内戦**などの課題を抱えている国が多い。

・南アフリカ共和国では，〔　　　　　　　　　　　　　〕という人種隔離政策が用いられ，白人による黒人への差別が行われてきたが，現在では見直しが進められている。

コンゴ共和国の独立（1960 年）

2 旧宗主国の影響を受けるアフリカの文化

・アフリカでは，長きにわたって支配を受けてきたヨーロッパ諸国（特に多くの**植民地**を有した**イギリス**・〔　　　　　　　　〕）の文化的影響が大きい。
・ヨーロッパ諸国により伝えられた**キリスト教**が，アフリカ南部を中心に信仰されている。
・〔　　　　　　　　〕の旧植民地の多い**西アフリカ**では，公用語として広く〔　　　　　　　　〕語が用いられ，〔　　　　　　　　〕の旧植民地の多い**東アフリカ**では〔　　〕語が広く用いられている。
・旧フランス植民地のセネガルでは，朝食でフランスパンを食べる文化や米食の文化も。米食は，フランス支配時代に，インドシナから米を輸入していたため。

3 アフリカの産業

・アフリカでは，**気候**に合わせた〔　　　　〕的農業も行われているが，旧宗主国によって持ち込まれた〔　　　　　　　　　　　　　　　〕農業や**鉱山**での採掘が現在も行われている。
・商品作物や鉱物などの一次産品に頼る**モノカルチャー経済**から抜け出せない国も多い。
・子どもが労働力と見なされる傾向があり，児童労働の問題も。

表　アフリカ各国の旧宗主国と主な輸出用生産物

国名	旧宗主国	主な輸出用生産物
アルジェリア	〔　　　　　　〕	原油・天然ガス（ヨーロッパへ輸出）
セネガル	フランス	落花生（油脂原料）
ケニア	〔　　　　　　〕	茶
コートジボワール	〔　　　　　　〕	カカオ
ガーナ	イギリス	カカオ・金
ナイジェリア	〔　　　　　　〕	原油
コンゴ民主共和国	ベルギー	銅・ダイヤモンド・コバルト

まとめ　伝統的な文化が破壊され，多くの労働力が流出したことで，発展の機会が阻害された。
フランス語や英語が公用語として使用され，食文化も影響を受けた。

Chapter4　サハラ以南アフリカ：変化するアフリカ

目標
現代におけるアフリカ諸国の発展の背景を理解しよう。
経済成長によって起こったアフリカの変化を理解しよう。

1　経済成長と新たな産業

・アフリカでは，いまだ経済的に貧しい国々も多いが，一部の国で急激な**経済成長**が見られる。

・**アンゴラ**や**コンゴ民主共和国**：21 世紀に入ってから鉱産資源の価格の急騰を背景に，〔　　　　〕やコバルトなどの〔　　　　　　　　　　〕を輸出して経済成長。

・**ルワンダ**：独立後に内戦で経済が停滞していたが，〔　　　　〕（情報通信技術）産業を国の主要戦略と位置づけて経済成長。

・人々が集まる都市ではホテルが開業し，豊かな自然環境を活かした**エコ・ツーリズム**など新たな産業も。

・2002 年には，それまでの **OAU**（アフリカ統一機構）から〔　　　〕（アフリカ連合）へ改組，地域全体での政治的・経済的発展を目指している。

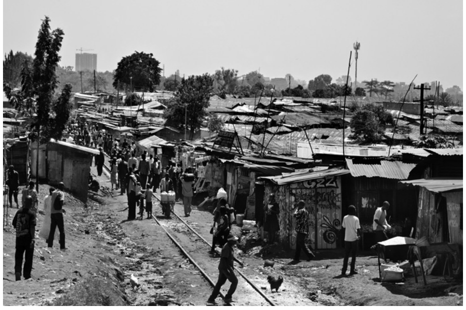
2　変化する人々の生活

・経済発展を遂げた都市では，新しい**高層ビル**が立ち並び，**CBD**（中心業務地区）を形成。〔　　　　〕住宅地区や商業施設が集まる。

・〔　　　　　　　　　　　　　〕が急速に普及し，**デジタル機器**の活用によって金融・医療などの分野で人々の生活に変化が見られる。

・〔　　　　〕地域から，多くの人口が〔　　　　〕へ流入した結果，都市の**周辺**には〔　　　　　〕（不良住宅地区）が形成された。

ケニアの首都ナイロビ


アフリカの都市スラム

3 可能性の大陸アフリカ

・一部で**経済成長**が見られるものの，多くの国が，いまだ**経済不振**，**貧困**，民族対立などに起因する〔　　　　〕・〔　　　　〕，〔　　　　〕による食糧不足，不衛生な環境による〔　　　　〕などの多くの課題に直面している。

・また，経済成長が見られる国でも，教育面においては国民の〔　　　　〕率が上がらないこと，開発においては〔　　　　　　　〕の未整備などの課題を抱えている。

・これらの問題に対し，**国連**や多くの**先進国**からの支援・融資が行われている。

・〔　　　　　　　　　　　〕：発展途上国の**生産者**と先進国の**消費者**が対等な立場で取引を行うことで，生産者を守る取り組み。

・近年，〔　　　　〕企業の進出や，インフラの整備における国家的協力が目立ち，アフリカと中国の関係が緊密化している。

・高い**出生率**を保つアフリカ大陸は**若年層**の割合が高く，今後の高い**経済成長**が期待される。

アフリカでの識字教育

モンバサ・ナイロビ標準軌鉄道

まとめ
鉱産資源の高騰や，ICT（情報通信技術）産業への注力など。
都市の発展が進む一方，貧富の差が拡大している。

第9講　PART2　確認問題

1 ロシアで使われる，主要言語系統はどれか。

① ウラル系　② スラブ系
③ トルコ系　④ ラテン系

2 ロシアの中央アジア隣接地域に多く暮らすトルコ系タタール人が，主に信仰する宗教はどれか。

① イスラーム　② カトリック
③ 東方正教　④ プロテスタント

3 ソ連の解体は，何年代の初頭か。

① 1970 年代　② 1980 年代
③ 1990 年代　④ 2000 年代

4 ソ連解体後，ロシアを中心として結成された独立国家共同体をアルファベットで何というか。

① BRICS　② CIS
③ NAFTA　④ WTO

5 ロシア南部のステップ草原に広がる，肥沃な土壌を何というか。

① チェルノーゼム　② テラロッサ
③ テラローシャ　④ レグール

6 ロシアが世界的な生産国で，砂糖の原料にもなる飼料作物はどれか。

① 油やし　② サトウキビ
③ テンサイ　④ なつめやし

7 ロシアの人々が週末を過ごす，郊外の菜園付きの別荘を何というか。

① エスタンシア　② ダーチャ
③ ファゼンダ　④ ファベーラ

8 南アフリカ共和国で 1991 年に撤廃されるまで行われていた，人種隔離政策を何というか。

① アパルトヘイト　② 多文化主義
③ ドイモイ　④ ブミプトラ

9 ガーナやコートジボワールにおいて，植民地支配時代から栽培している農作物は何か。

① 油やし　② カカオ
③ コーヒー豆　④ テンサイ

10 発展途上国の生産者と先進国の消費者が対等な立場で取引を行うことで，生産者を守る取り組みのことを何というか。

① セーフガード　② タックスヘイブン
③ フェアトレード　④ モノカルチャー経済

第 9 講　PART2　確認問題 解答

1 解答：②　ロシアを含む東ヨーロッパの言語系統は，主に**スラブ系**である。

①：シベリア西部やフィンランドなどの言語はウラル系統。
③：中央アジアを中心とする言語の系統。
④：イタリア語，フランス語，スペイン語，ポルトガル語などの言語系統。

2 解答：①　中央アジアと隣接する地域には**トルコ系**の人々が居住し，主に**イスラーム**を信仰している。

②：主にヨーロッパ南部やラテンアメリカに信者が多い。
③：主にヨーロッパ東部に信者が多い。
④：主にヨーロッパ北部や北アメリカに信者が多い。

3 解答：③　経済の停滞などを要因とし，**1991 年**にソ連は解体した。

①：人々の勤労意欲・生産性の低下や，軍事費の拡大によって，経済が停滞した。
②：市場経済を取り入れるも，国民の生活に混乱をきたした。
④：豊富なエネルギー資源を背景に，急激な経済成長を遂げた。

4 解答：②

CIS とは，ソ連解体に伴い 1991 年に結成された緩やかな国家連合。旧ソ連を構成していた国家が多く加盟している。

①：近年経済成長を果たしたブラジル，ロシア，インド，中国，南アフリカ共和国の総称。
③：アメリカ合衆国, カナダ, メキシコの３か国による自由貿易協定。現在は USMCA に引き継がれている。
④：旧ソ連と東ヨーロッパ諸国の安全保障条約。1991 年に失効。

5 解答：①

ロシア南部に広がる肥沃な土壌は**チェルノーゼム**である。

②：地中海沿岸の土壌。
③：ブラジル高原の土壌。
④：デカン高原の土壌。

6 解答：③

テンサイは主に冷涼地域で栽培されるため，ロシアで栽培が盛んになっている。

①：東南アジアで栽培が盛ん。
②：ブラジルやインドで栽培が盛ん。
④：西アジアや北アフリカで栽培が盛ん。

7 解答：②

ロシアの一般市民が都市郊外に持つ別荘のことを**ダーチャ**という。

①：アルゼンチンに見られる大農園。
③：ブラジルに見られる大農園。
④：ブラジルなどに見られるスラム。

8 解答：①

南アフリカ共和国で行われた人種隔離政策を**アパルトヘイト**という。1980 年代後半以降，アパルトヘイトを支えてきた各種法律が撤廃された。

②：多様な文化を尊重しようとする考え方。現在のオーストラリアで顕著に進む。

③：1980 年代後半からベトナムで導入されている，社会主義に市場経済の仕組みを取り入れた経済政策。

④：マレーシアにおける，マレー人優遇政策。

9 解答：②

ガーナやコートジボワールは現在も**カカオ**の生産が多い。

①：原産は西アフリカであるが，植民地時代，東南アジアにプランテーションの作物として持ち込まれた。現在もマレーシアやインドネシアで栽培が盛ん。

③：原産はエチオピア。現在はブラジルやコロンビアなどのラテンアメリカ諸国，ベトナムやインドネシアなどの東南アジア諸国のプランテーションで栽培が盛ん。

④：冷涼な気候に適し，ヨーロッパ北部やロシアで栽培が盛ん。

10 解答：③

フェアトレードとは，発展途上国の産品を適切な価格で売買することで，生産者の所得向上，持続可能な農業経営を目指すことをいう。

①：国内の産業を保護するため，緊急に関税を引き上げる制度のこと。

②：外国の企業に対し，税金を免除するなどしている地域のこと。

④：単一の農作物や鉱産資源の輸出に頼る経済のこと。